



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブレインパッド
コード番号 3655 URL http://www.brainpad.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 隆史 (戸籍名: 高橋 隆史)
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池田 直紀 TEL 03-5791-4210
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績（平成24年7月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	419	—	20	—	16	—	8	—
24年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 8百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	1.30	1.27
24年6月期第1四半期	—	—

(注)

- 平成25年6月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 当社は平成24年10月31日開催の取締役会において、平成24年12月1日付で普通株式1株を、普通株式2株に分割する旨の決議をいたしました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、平成25年6月期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	1,241	993	79.9
24年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 991百万円 24年6月期 一百万円

(注) 25年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、24年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想（平成24年7月1日～平成25年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,118	—	106	—	98	—	59	—	9.00
通期	2,470	—	377	—	329	—	197	—	30.04

- 当社は平成25年6月期第1四半期より、従来の単体決算から連結決算へと移行いたしました。詳細は、添付資料P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 平成25年6月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。
- 当社は平成24年10月31日開催の取締役会において、平成24年12月1日付で普通株式1株を、普通株式2株に分割する旨の決議をいたしました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して平成25年6月期の業績予想における、1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（注）詳細は、添付資料P. 3「2.（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年6月期1Q	3,292,078株	24年6月期	3,284,330株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	ー株	24年6月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年6月期1Q	3,291,650株	24年6月期1Q	2,617,957株

（注）当社は平成24年10月31日開催の取締役会において、平成24年12月1日付で普通株式1株を、普通株式2株に分割する旨の決議をいたしました。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、25年6月期第1四半期連結会計期間に子会社を設立したため、25年6月期第1四半期決算より四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興施策の着実な進捗や、企業における雇用環境・収益環境の持ち直し等を背景とした国内需要の回復により緩やかに回復しつつあります。一方で、欧州政府債務危機等を背景とした資本市場の変動や海外経済の下振れにより世界経済は減速感があり、中長期的な見通しは未だ不透明な状況にあります。このような経済環境下において、当社の事業領域である情報・通信領域では、「ビッグデータ」トレンドを受けたIT投資及び、企業内におけるデータ活用意欲の高まりを受け、分析ノウハウを活かした汎用的なサービスソリューションの販売促進に引き続き力をいれてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は419,567千円、営業利益は20,141千円、経常利益は16,401千円、四半期純利益は8,555千円となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

(アナリティクス事業)

当社グループの主要事業であるデータマイニング・最適化サービスを提供するアナリティクス事業につきましては、引き続き顧客のマーケティング上の課題の解決と利益の最大化を実現するための様々なマーケティング施策の提案・実行支援を行ってまいりました。当第1四半期においては、前期までの大型案件の支援終了を受け、当該事業の安定的、かつ中長期的な成長を目的としたデータ分析官の人員配置の見直しを行いました。この結果、売上高は157,873千円、セグメント利益は56,549千円となりました。

(ソリューション事業)

データ分析やそれに基づく一連のマーケティング活動を実施する上で必要なソフトウェアのライセンス提供とシステム構築を行うソリューション事業は、主力製品である「smartFOCUS」の新規受注などによる売上増加、ライセンス保守収益が増加となりました。この結果、売上高は129,494千円、セグメント利益は20,738千円となりました。

(ASP関連事業)

当社で着目したデータ分析系のアルゴリズムから独自性の強いツールを開発し、ASPにて提供及び付随する保守業務等を行うASP関連事業は、既存の自社開発のASPサービスを中心に前期から引き続き、順調に新規案件を獲得しつつあります。この結果、売上高は132,200千円、セグメント利益は54,285千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,241,324千円となりました。

流動資産の残高は、896,953千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が554,680千円、受取手形及び売掛金が270,317千円であります。また、固定資産の残高は、344,371千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が75,179千円、無形固定資産が213,563千円、投資その他の資産が55,628千円であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は247,838千円となりました。

流動負債の残高は、224,398千円となりました。主な内訳は、未払費用が97,334千円、前受収益が44,521千円、買掛金が23,425千円であります。また、固定負債の残高は、23,439千円となりました。主な内訳は、長期借入金が18,346千円であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、993,486千円となりました。

主な内訳は、資本金が326,618千円、資本剰余金が303,318千円、利益剰余金が362,048千円、少数株主持分が1,500千円であります。この結果、自己資本比率は79.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズを新たに設立したため、当第1四半期より連結財務諸表を作成することとなりました。しかしながら、子会社化したことに伴う当期の連結業績に与える影響は軽微であるため、平成24年8月9日開示の個別業績予想の金額を連結業績予想として開示しております。なお、個別業績予想につきましては前回予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間より、新たに設立した株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
 (平成24年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	554,680
受取手形及び売掛金	270,317
仕掛品	5,499
繰延税金資産	1,645
その他	64,811
流動資産合計	896,953
固定資産	
有形固定資産	75,179
無形固定資産	
ソフトウェア	189,577
その他	23,985
無形固定資産合計	213,563
投資その他の資産	55,628
固定資産合計	344,371
資産合計	1,241,324
負債の部	
流動負債	
買掛金	23,425
1年内返済予定の長期借入金	14,192
未払金	18,551
未払費用	97,334
前受収益	44,521
未払法人税等	1,309
その他	25,064
流動負債合計	224,398
固定負債	
長期借入金	18,346
その他	5,093
固定負債合計	23,439
負債合計	247,838
純資産の部	
株主資本	
資本金	326,618
資本剰余金	303,318
利益剰余金	362,048
株主資本合計	991,986
少数株主持分	1,500
純資産合計	993,486
負債純資産合計	1,241,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	419,567
売上原価	223,118
売上総利益	196,448
販売費及び一般管理費	176,307
営業利益	20,141
営業外収益	
受取利息	49
その他	0
営業外収益合計	50
営業外費用	
支払利息	400
支払手数料	3,262
その他	127
営業外費用合計	3,789
経常利益	16,401
税金等調整前四半期純利益	16,401
法人税、住民税及び事業税	958
法人税等調整額	6,887
法人税等合計	7,846
少数株主損益調整前四半期純利益	8,555
四半期純利益	8,555

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,555
四半期包括利益	8,555
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	8,555
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	ASP関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	157,873	129,494	132,200	419,567	—	419,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	157,873	129,494	132,200	419,567	—	419,567
セグメント利益	56,549	20,738	54,285	131,573	△111,432	20,141

(注)1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用111,432千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

株式分割による新株式の発行

平成24年10月31日開催の取締役会において、株式分割による新株式の発行を、下記の概要にて決議いたしました。

平成24年12月1日をもって、普通株式1株を、普通株式2株に分割いたします。

①分割により増加する株式数

普通株式 3,292,078株

②分割方法

平成24年11月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を、普通株式1株につき、普通株式2株の割合をもって分割いたします。